

2021年度 中央大学 学生奨励賞受賞者

第 35 回 渋谷健一奨励賞

本賞は、渋谷健一先生（元本学理事長）の本学創立百周年を記念した篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、本学に在学する学生のうち、学術、文化、体育等の活動を通じて、卓越した成果を収めた者（団体を含む）を対象に授与するものです。

【学術・文化の分野（個人）】

【学術・文化の分野（個人）】

中山 春佳	経済学部 3年	脳波測定技術を利用した研究について講演し、電子情報通信学会ネットワークソフトウェア研究会より、ネットワークソフトウェア若手研究奨励賞を受賞した。
内山 航輔	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	CLAWAR2021において、ロボットの産業発展を目指す国際学会に投稿された論文の中から優れた学生に贈られる Best Student Paperを受賞した。
清水 周作	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	修士研究が、自動車技術会大学院研究奨励賞を受賞した。
町田 陽佳	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	ペプチドに機能性分子を導入する研究について、有機合成化学協会第119回有機合成シンポジウムにおいて、優秀ポスター賞を受賞した。
板垣 廉	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	複合系の光機能研究会第32回配位化合物の光化学討論会において、学生ポスター賞を受賞した。また、日本化学会第11回CSJ化学フェスタ2021において、優秀ポスター発表賞を受賞した。
明石 勇志	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	人工ウイルス粒子を合成し、水中で自走するタンパク質マイクロチューブモーターが人工ウイルス粒子を効率よく捕捉することを見出した。その成果を生物無機化学研究会第33回生物無機化学夏季セミナーで発表し、優秀ポスター賞を受賞した。
佐藤 臨	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	液晶の相転移をイメージングし、そのメカニズムを明らかにした。その成果を国際会議OLC2021でポスター発表し、Shimakutuba Awardを受賞した。
長谷川 舞	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	新しい人工血液を開発し、その構造と機能を明らかにした。その成果を第28回日本血液代替物学会年次大会で発表し、最優秀発表賞を受賞した。
高田 諒也	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	融合タンパク質を産生し、その一部を置換した新しいタンパク質を開発した。その成果を日本化学会第11回CSJ化学フェスタ2021で発表し、優秀ポスター発表賞を受賞した。
山本 廉太	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 経営システム工学専攻	日本規格協会グループによる品質管理検定(QC検定)1級に合格し、成績上位合格者として表彰された。
今泉 暁	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 応用化学専攻	分子性ブリカーサーを用いた固体酸触媒創成に関する研究成果を、日本化学会第11回CSJ化学フェスタ2021で発表し、最優秀ポスター発表賞(CSJ化学フェスタ賞)を受賞した。
岡本 航	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 応用化学専攻	人工血液の安全性及び有効性について、医学チームとの共同研究により明らかにした。その成果を第70回高分子学会年次大会で発表し、優秀ポスター賞を受賞。また、第28回日本血液代替物学会年次大会においても、優秀発表賞を受賞した。
山田 大雅	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 応用化学専攻	悪性腫瘍治療の増感剤となる新しいタンパク質分子を開発し、細胞実験からその有効性を明らかにした。その成果を、第70回高分子学会年次大会で発表し、優秀ポスター賞を受賞した。

【体育の分野（団体）】

フェンシング部	2021年日本学生フェンシング選手権大会 男子フルール団体 優勝 女子フルール団体 優勝
剣道部	第69回全日本学生剣道優勝大会(男子) 優勝 第40回全日本女子学生剣道優勝大会 優勝
自転車競技部	第59回全日本学生選手権チームロードタイムトライアル大会 チームロードタイムトライアル1位 第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 男子トラック団体1位

【体育の分野（個人）】

市田 龍生都	法学部 2年 (自転車競技部)	第61回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 ケイリン1位 第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会男子ケイリン1位、男子1kmタイムトライアル1位
--------	--------------------	---

第 29 回 三重野康・高木友之助記念学術奨励賞

本賞は、三重野康元日本銀行総裁及び高木友之助元総長の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、学部学生のうち、経済、金融、政策等の諸科学の分野で、卓越した成果を取めた者に授与するものです。

岡田 享也	経済学部 4年	<p>・2021年度経済学部優秀演習論文選考委員会において、評価順位1位にて経済学部長賞を受賞</p> <p>岡田氏の論文では、為替パスルーについて、既存研究にないアプローチから分析が行われている。為替パスルー（率）とは、為替変動が貿易取引時の価格にどの程度反映されるのかを示す指標を指す。例えば、一般的には円安が進むと日本からの輸出が増えると考えられているが、仮に円安になっても、輸入国における（輸入国通貨建ての）価格が低下しなければ需要は増えず、日本の輸出は思うように増えないということになる。こうした現象は不完全パスルー、あるいはPricing-to-marketと呼ばれる現象で、アベノミクス下の円安時に思うように日本の輸出が伸びなかったことの一つの原因ともされている。この為替パスルーがどの程度働いているか、また為替パスルーはどういったファクターによって決定しているのか、というのが、今回岡田氏が執筆した論文（あるいは為替パスルーの研究分野）の根底にある問いになっている。岡田氏は、日本の主要製造業である自動車業界で為替パスルーがどうなっているのか、将来金融業界で働くことを踏まえて、どういったマクロ金融的な課題が存在しているのか、という問題意識をもって、この研究を開始した。積極的に質問をし、大変な熱意をもって取り組んでいた。</p> <p>岡田氏の論文は、一学生の演習論文という範疇に留まらない貢献を持つものである。為替相場制度の変更が為替パスルーに与える影響については、これまであまり多く研究がされてこなかった。特に、今回岡田氏が注目した、日本の自動車産業の対中輸出において、2005年7月の人民元改革（固定相場制から管理フロート制への移行）が為替パスルーにどういった影響を与えたかは、これまで研究が存在していないと考えられる。自動車産業は日本の主要輸出産業であること、中国は日本の主要輸出相手国であることを鑑みれば、岡田氏の分析は高い政策的示唆を持つと判断でき、磨けば国内研究機関のポリシーペーパーや、学術誌に掲載されていても不自然ではない内容と質のもものと見ている。また、人民元改革では事実上の為替相場運営に変化はなく、純粋な制度変更（のアナウンス効果）が為替パスルーに与えた影響を取り出すことに成功しており、実証分析としての精度も高いと言える。この点は、岡田氏が人民元改革に焦点を当てたことの素晴らしい部分であると評価している。分析結果は大変シンプルに整理されているが、現在の結果にたどり着くまでに、多くの時間と労力を費やした。学術的貢献度の高さ、着眼点の良さ、また岡田氏の演習論文にかけた熱意と労力を評価して、「三重野康・高木友之助記念学術奨励賞」候補論文として強く推薦する。</p>
小澤 侑大	商学部 4年	<p>本論文は、企業のガバナンス構造の違いが経営者予想の精度に与える影響を分析する。経営者予想は、その開示率の高さから日本企業の特徴的な会計情報と見てよく、これまでの会計学研究では、経営者予想を予想の不確実性などの独立変数として用いた実証分析がいくつか試みられてきた。本論文では、経営者予想を従属変数としてとらえたうえで、これとガバナンスとの関係を明らかにする点で特徴を有する。本論文のおもな発見事項にもとつき含意を述べると、取締役員数が多い場合に経営者へのガバナンスが強化される一方で、社外取締役の役割が形骸化している可能性を示唆している。2015年から社外取締役の選任を要求するコーポレートガバナンス・コードが施行されるなど、近年、ガバナンス強化が進められており、その点でガバナンス強化策施行後の推定結果を示した点も本研究の1つの貢献といえる。こうした研究成果を踏まえて、本論文を三重野康・高木友之助記念学術奨励賞候補者に推薦したい。</p>
穴澤 浩太郎 北 向 夏輝	総合政策学部 3年	<p>ディーセント・ワークを目指して：日本の労働環境改善に向けた政策提言</p> <p>この共同研究論文では、日本の労働環境に関する詳細なパネルデータ分析を行い、ワークライフバランス（WLB）の改善に向けた政策提言を行っている。分析の結果から、WLBを左右する要因として、就労環境の面で見ると企業規模や勤務形態の柔軟性が影響していることが示され、労働者属性の面から見ると労働者の性別や職種、職階のほか、従業員のメンタルヘルスの状態が影響していることが示された。本論文では、特に労働者の属性やメンタルヘルスに着目し、それを改善するための具体案を提示している。とりわけ、メンタルヘルスには性差があり、男性についてのケアが重要であることや、働き方改革で取り残された形となっている管理職の長時間化、WLBの悪化を示し、その改善策を検討している点は、貢献部分として高く評価できる。本論文は、総合政策学部主催のリサーチフェスタ2021にて12名の審査員（総合政策学部教員）による審査の結果、「優秀賞」を受賞しており、本奨励賞の候補者として強く推薦する。</p>

第 27 回 船木勝馬学術奨励賞

本賞は、船木勝馬氏の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、アジア諸国・地域からの留学生を対象とし、卒業論文、修士論文又は研究論文が、優秀と認められた者に授与するものです。

劉 晉	文学研究科 教育学専攻 博士後期課程	<p>この論文は、特に中国内陸部の貧困地域を取り上げ、社会関係資本の理論的論考などを参照しながら、高校間格差（重点校/非重点校）と親の教育戦略の選択との関係に着目し実証的に分析をおこなった。親の社会関係資本（有力者からの情報やコネなど）が、生徒の進学機会の獲得にどのようなはたらきをしているかを優遇進学制度の活用事例や学校内外のネットワーク構築過程の現場調査を通して具体的に検討している。進学機会の不平等・格差を加速させている高校現場の実態とそのメカニズムを新たな視点から分析しており、これまでマクロな階層研究に偏っていた受験体制・階層格差の問題性を具体的に指摘しており、きわめて独創的で有益な研究であるといえる。氏は、中国内陸部の貧困地域の事例を取り上げ、高校間格差（重点校/非重点校）と親の教育戦略の関係に実証的な分析を加えており、これまでにない進学機会の不平等・格差のありようを指摘している点で高い評価に値するといえる。こうした博士論文研究の有用性から、氏は多くの学会で口頭発表（英語発表を含む）を行い、投稿した論文がいくつもの学会で採択されることになった。留学生でありながら、日本語能力も飛躍的に向上し、日々研究に努力を惜しまない態度は極めて模範的な院生であるといえる。こうした実績の点からも、学術奨励賞に値するものであり、人格的にも授賞にふさわしい人物であると評価できる。</p>
-----	--------------------------	---

第 27 回 水野富久司スポーツ奨励賞

本賞は、水野富久司氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として陸上競技部選手の育成に資することを目的として、陸上競技部に所属する学生のうち、長距離選手として優秀な成績を取めた者に授与するものです。

吉居 大和	法学部 2年 (陸上競技部)	<p>第98回東京箱根間往復大学駅伝競走大会 1区 区間1位 区間新記録 区間1位であり、区間新記録も更新しており、今後も日本の長距離種目で活躍が大きく期待される。</p>
-------	-------------------	--

第 25 回 瀧野秀雄学術奨励賞

本賞は、瀧野秀雄氏の篤志を尊重し、少壮気鋭の研究者の研究活動を奨励することを目的として、本学准教授、助教若しくは専任講師又は大学院に在籍する学生であって、産業や技術開発の国際化にともなう知的財産権に関する研究論文が優秀と認められた者に授与するものです。

白 井 朝 音	理工学研究科 応用化学学専攻 博士前期課程	・ポリオキサソリン結合アルブミン、人工血漿増量剤及び出血ショックの蘇生液 推薦理由：献血液から分離精製されたアルブミン（タンパク質）は製剤化され、臨床で広く使用されている。しかし、少子高齢化が進行すると、今後 献血液の安定確保は難しくなる。候補者 白井朝音さんは、新しい人工血漿増量剤として“ポリオキサソリン結合アルブミン”を世界で初めて開発した。ヒトはもちろん愛玩動物（ペット）にも使用できる製剤として注目を集めている。当該技術は特許出願（出願人：中央大学、特願2021-27892）を済ませた後、研究論文として日本化学会第101春季年会、第70回高分子学会年次大会、第28回日本血液代替物学会年次大会において発表された（いずれも要旨査読有）。本成果は、先進医療と動物医療に大きな貢献をもたらす革新的発明といえる。
---------	-----------------------------	---

第 25 回 茨木龍雄学術奨励賞

本賞は、茨木龍雄氏の篤志を尊重し、都市環境学の分野における有為な人材の育成に資することを目的として、理工学部都市環境学科及び大学院理学研究科都市環境学専攻に在籍をする学生であって、都市環境学に関する研究及び人物がともに優秀と認められた者に授与するものです。

大 久 保 理 彩	理工学研究科 都市人間環境学専攻 博士前期課程	・感潮河川を有する都市低平地における内外水同時氾濫解析による浸水予測に関する研究 成績優秀で同級生からの信頼も厚い勤勉な学生である。修士論文では、感潮河川を有する都市低平地を対象として、治水計画や避難計画等に貢献する浸水予測システムを自ら構築し、内外水同時氾濫解析による河川・下水道の一体的に解析することで河川水位に加えて内水位の重要性を浸水状況や避難計画を通して明らかにし、修士論文発表会において最も優れた発表を行ったとの評価を得た。また、この研究の成果を発表した公益財団法人土木学会第48回関東支部技術研究発表会において優秀発表者賞を受賞し、学術的に高い評価を得ている。研究成果は実際に横浜市西区民の避難に活用されており、共同研究先の企業や横浜市西区長など多方面から高い評価を得ている。上記のように、周りの学生の模範となるような同君の探求心・行動力や学問を迫及する姿勢は見事であることから、茨木龍雄学術奨励賞の候補者として推薦する。
福 岡 龍	理工学部 4年	・豪雨時の市街地氾濫機構と住民避難の視点から見た水防災まちづくりに関する研究 人間性に富み、学業への研鑽を継続的に行ってきた。卒業研究では、令和2年7月豪雨で被災した熊本県人吉市を対象として上記題目の課題に取り組んだ。地形や河川改修の現状から洪水氾濫への脆弱性を検討し、適切な避難経路を示すとともに、水防災まちづくりの検討事項を整理・提示した。これらの成果は治水とまちづくりの実現に有益なものと考えられ、卒業論文発表会において最も優れた発表を行ったとの評価を得た。学部卒業後、大学院に進んでさらに自己研鑽に励む予定である。以上より、茨木龍雄学術奨励賞に値する人物として推薦する。

第 25 回 久保田昭夫・久保田紀昭女子スポーツ奨励賞

本賞は、久保田昭夫氏及び久保田紀昭氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として女子選手の育成に資することを目的として、校友会体育連盟の部会に所属する女子学生であって、選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

池 本 風 沙	法学部 1年 (水泳部)	東京オリンピック 女子800mフリーレーン 予選第9位 東京オリンピック日本代表に選出され、女子800mフリーレーンに出場した。今後も世界大会での活躍が期待できる。
上 野 優 佳	法学部 2年 (フェンシング部)	東京オリンピック フェンシング女子フルーレ団体 第6位 東京オリンピック日本代表に選出され、団体戦に出場した。今後も世界大会での活躍が期待できる。

第 68 回 学員体育会賞

本賞は、体育の業績において優秀な成績を挙げた本学の学生、団体に対し授与するものです。

【優秀団体賞】			
ハンドボール部	高松宮記念杯男子64回・女子57回全日本学生ハンドボール選手権大会	優勝(40年ぶり4回目)	
	2021年関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦	優勝	
剣道部(男子)	第69回 全日本学生剣道優勝大会 団体戦	優勝(史上初3連覇15回目)	
剣道部(女子)	第40回 全日本女子学生剣道優勝大会 団体戦	優勝(初優勝)	

【優秀団体部門賞】			
フェンシング部(男子)	2021年 全日本学生フェンシング選手権大会	男子フルール団体戦	優勝
	2021年 関東学生フェンシング選手権大会	男子フルール団体戦	優勝
フェンシング部(女子)	2021年 全日本学生フェンシング選手権大会	女子フルール団体戦	優勝

【努力団体賞】			
準硬式野球部	2021年度東都大学準硬式野球春季リーグ戦		優勝
	2021年度東都大学準硬式野球秋季リーグ戦		優勝
	第43回関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦		優勝(3連覇)
軟式野球部	令和3年度 東都学生軟式野球連盟 春季リーグ戦		優勝
	令和3年度 東都学生軟式野球連盟 秋季リーグ戦		優勝

【努力団体部門賞】			
自転車競技部	第59回全日本学生自転車競技選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会	優勝	
	山本哲央(経4)、中村龍吉(経3)、五十嵐洗太(経2)、留目夕陽(法1)		
	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック)		団体1位

【優秀選手賞】			
吉 居 大 和	法学部 2年 (陸上競技部)	第98回東京箱根間往復大学駅伝競走大会 第53回全日本大学駅伝対抗選手権大会	1区区間賞・区間新記録 1区区間新記録
川 根 正 大	法学部 4年 (水泳部)	第97回日本学生選手権水泳競技大会	男子50m自由形優勝(3年連続3回目)
池 本 風 沙	法学部 1年 (水泳部)	第32回オリンピック競技大会(東京2020)	女子4×200mフリーリレー 予選9位
部井久アダム勇樹	法学部 4年 (ハンドボール部)	第32回オリンピック競技大会(東京2020)	11位
上 野 優 佳	法学部 2年 (フェンシング部)	第32回オリンピック競技大会(東京2020) 2021年全日本学生フェンシング選手権大会女子フルール個人戦 第74回全日本フェンシング選手権大会女子フルール個人戦	フェンシング女子フルール個人 6位 フェンシング女子フルール団体 6位 優勝 優勝
富 井 大 賀	法学部 3年 (スキー部)	第30回ユニバーシアード冬季競技大会 スーパーG 大回転 回転 パラレル回転 ミックスチームパラレル	日本代表
山 本 哲 央	経済学部 4年 (自転車競技部)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子4kmインディヴィデュアルパシュート	優勝 優勝
中 村 龍 吉	経済学部 3年 (自転車競技部)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子マディソン	優勝

【体育賞】			
出 頭 海	法学部 2年 (レスリング部)	令和3年度全日本学生レスリング選手権大会	フリースタイル125kg優勝
長 岡 真 鈴	文学部 1年 (スケート部)	第30回ユニバーシアード冬季競技大会	アイスホッケー 日本代表
梶 原 海 斗	法学部 4年 (自転車競技部)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子スプリント	優勝
青 木 瑞 樹	商学部 4年 (自転車競技部)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子タンデムスプリント	優勝
保 田 浩 輔	商学部 4年 (自転車競技部)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子タンデムスプリント	優勝
市 田 龍 生 都	法学部 2年 (自転車競技部)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子1kmタイムトライアル 男子ケイリン 第61回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	優勝 優勝 優勝
深 見 陽 向	商学部 4年 (ライフセービング部)	第36回全日本学生ライフセービング選手権大会	優勝
		女子サーフスキーレース	優勝

【努力賞】			
金 子 魅 玖 人	商学部 2年 (陸上競技部)	第100回関東学生陸上競技対校選手権大会	男子800m 優勝
遠 藤 光	法学部 3年 (水泳部)	ジャパンオープン2021(50m)	男子1500m自由形 優勝
幡 谷 康 平	法学部 1年 (ソフトテニス部)	第72回関東学生ソフトテニス選手権大会(ダブルス)	優勝
西 田 駿 人	経済学部 2年 (ソフトテニス部)	第72回関東学生ソフトテニス選手権大会(ダブルス)	優勝
中 村 仁 宣	文学部 4年 (ハンドボール部)	2021年関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦	最優秀選手賞
幸 喜 健 太 朗	商学部 3年 (準硬式野球部)	東都大学準硬式野球春季リーグ戦	最優秀選手賞
森 康 太 朗	法学部 4年 (準硬式野球部)	東都大学準硬式野球秋季リーグ戦	最優秀選手賞

上 村 静 香	文学部 4年 (自動車部)	全関東学生自動車運転競技選手権大会 女子小型貨物個人の部	優勝
上 野 優 斗	法学部 4年 (フェンシング部)	第73回関東学生フェンシング選手権大会 男子フルーレ個人	優勝
福 田 健 太	商学部 3年 (自転車競技部)	第61回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 男子1kmタイムトライアル	優勝
緑 川 朋 晃	商学部 2年 (軟式野球部)	東都大学軟式野球春季リーグ戦	最高殊勲選手賞
山 下 乃 亜	文学部 2年 (軟式野球部)	東都大学軟式野球秋季リーグ戦	最高殊勲選手賞
川 村 優 太	文学部 3年 (少林寺拳法部)	第58回少林寺拳法関東学生大会 立合評価法(防具乱捕)男子重量級	優勝

【リレー賞】

女子陸上競技部 (4名)	第100回関東学生陸上競技対校選手権大会 女子4x400m 高島菜都美(文3)、松岡萌絵(経1)、飯田景子(法1)、大島愛梨(文3)	優勝(8年ぶり)
自転車競技部 (3名)	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(トラック) 男子チームスプリント 大橋真慧(経2)、梶原海斗(法4)、市田龍生都(法2)	優勝
スキー部 (4名)	秩父宮杯秩父宮妃杯第95回全日本学生スキー選手権大会 男子(1部)4x7.5kmリレー 杵掛隼士(法1)、小林皓生(経2)、湯本幸耶(経2)、高橋汰門(経3)	

【学長賞】

吉 居 大 和	法学部 2年 (陸上競技部)
川 根 正 大	法学部 4年 (水泳部)
池 本 風 沙	法学部 1年 (水泳部)
部井久アダム勇樹	法学部 4年 (ハンドボール部)
上 野 優 佳	法学部 2年 (フェンシング部)
富 井 大 賀	法学部 3年 (スキー部)
山 本 哲 央	経済学部 4年 (自転車競技部)
中 村 龍 吉	経済学部 3年 (自転車競技部)

【優秀監督賞】

実 方 智	ハンドボール部
北 原 修	剣道部

【永年監督賞】

実 方 智	ハンドボール部
-------	---------

第 39 回 学員会会長賞

本賞は、在学生の士気の高揚を図り、本学の発展に寄与することを目的として、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて特に優秀な成果を収めた者に授与するものです。

【学術・文化・社会の分野】

新井 馨	法学部 3年	野毛坂グローバル主催（後援：朝日新聞社、SDGsジャパン、独立行政法人国際協力機構（JICA））「SDGs『誰ひとり取り残さない』小論文コンテスト」で、「6年前に帰化した私」というテーマで小論文を執筆し、株式会社日東装備特別賞を受賞した。認定NPO法人カタリバでは外国にルーツを持つ高校生の支援に携わっており、オンラインでの支援や都内の定時制高校でのプログラムにサポート役として参加する等、ボランティア活動も積極的に行っている。
山本 悠雅 遠藤 瑞季	法学部 2年	2021年1月17日（日）に外務省主催「YOUTH気候変動政策コンペティション」がオンラインで開催された。「脱炭素社会の実現に向けたあなたのまちの施策」をテーマに、学生が自ら選んだ自治体に対して温室効果ガスなどの削減に向けた提言を行うものである。本選に出場した外交研究会の山本悠雅さんと遠藤瑞季さんのペアがプレゼンテーションを行い「農業と再生可能エネルギーを両立させるふるさと農電」というテーマで、北海道帯広市における脱炭素政策の問題点を指摘し、削減量のシミュレーションを交えながら丁寧な事前準備により自分たちのコンセプトを分かりやすくプレゼンテーションした結果として、見事に「外務大臣賞(1位)」を獲得した。
宮本悟ゼミAチーム 三枝 沙矢 (他 3名)	経済学部	「つながろう高齢者！なくそう孤独死！」をテーマにした本研究は、第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会にて優秀賞を受賞した。八王子市に対して3種類の「つながり」推進策を提言し、そのいずれもが他の社会施策（空き家対策、学生の八王子市内居住・定住意欲向上策、NPOの活動助成策・民間企業のCSR推進策）にも目配りをした複眼的提言となっている。3年生の参加が多い学外発表会にて2年次に好成績を収めたことで、意欲的な4名のチームメンバーはこれを励みにさらなる飛躍を遂げるものと期待している。
三原 密織 (他 3名)	経済学部	次世代の通信技術である5Gとスマホ（Android）を融合した新しいサービスのアイデアを競うコンテスト（主催：KDDI、日本アンドロイドの会）に参加し優秀賞を獲得した。実際に感じているオンライン飲み会の課題を、ICT分野の非専門家である経済学部の学生が5G+Androidというフレームワークでまとめ、多くの専門家の中で評価されたというだけでなく、今後のICT社会においては専門分野にかかわらず課題を分析し、新しいアイデアとしてまとめる能力の重要性を示すとともに、中央大学経済学部の学生の可能性を示したものとして評価できる。心理学の観点からユーザインターフェース設計を理論的に検討した結果を、7月には電子情報通信学会の研究会で、9月には認知科学の国際会議CogInfoCom2021にて学生が発表し、高い評価を得た。さらに今後は、アプリを完成させ、ビジネス化することも視野に入れており、継続的な検討につながっていることも評価できる。
商学部 渡辺ゼミ 多摩の5階より 佐々木 健人 (他 6名)	商学部	大学生による日本のスポーツ政策やスポーツ産業振興策についての研究成果を発表し議論する場である、日本スポーツ産業学会主催の2021年度スポーツ政策学生会議（Sport Policy for Japan；SPJ、2021年10月23・24日開催）において、「大学スポーツが将来の大学に対する寄付金に与える影響に関する実証的研究」というテーマで研究報告を行い、大学スポーツの振興に関する提言・研究として優れた評価を獲得し、UNIVAS（大学スポーツ協会）賞を受賞した。受賞チームにはプレゼンされた内容をさらに発展させ、そこで提案されたスポーツ政策の実現に向けて働きかけるために、スポーツ産業学会から研究奨励金を授与される予定であり、その発展させた内容は、日本スポーツ産業学会の学会誌である『スポーツ産業学研究』に、論文として掲載されることになっている。
中央大学精密機械 工学研究部 河奈 裕太郎 (他 30名)	理工学部	能代宇宙イベントにおいてオートデスク株式会社の製品であるFusion360を活用して人工衛星型ロボットCANSATを設計および制作し、Autodesk賞の優秀賞を受賞した。学生が主体的に実際のものづくりに挑戦し、授業で学習した内容に加え、多様な技術習得や制作を実践している。

【スポーツの分野（団体）】

ハンドボール部	高松宮記念杯男子64回・女子57回全日本学生ハンドボール選手権大会 2021年関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦	優勝（40年ぶり4回目） 優勝
剣道部（男子）	第69回 全日本学生剣道優勝大会 （ハンドボール部）	団体戦 優勝（史上初3連覇15回目）
剣道部（女子）	第40回 全日本女子学生剣道優勝大会	団体戦 優勝（初優勝）

【スポーツの分野（個人）】

吉 居 大 和	法学部 2年 （陸上競技部）	第98回東京箱根間往復大学駅伝競走大会 第53回全日本大学駅伝対抗選手権大会	1区区間賞・区間新記録 1区区間新記録
川 根 正 大	法学部 4年 （水泳部）	第97回日本学生選手権水泳競技大会 男子50m自由形	優勝（3年連続3回目）
池 本 風 沙	法学部 1年 （水泳部）	第32回オリンピック競技大会（東京2020）女子4×200mフリーリレー	予選9位
部 久 久 アダム 勇 樹	法学部 4年 （ハンドボール部）	第32回オリンピック競技大会（東京2020）	11位
上 野 優 佳	法学部 2年 （フェンシング部）	第32回オリンピック競技大会（東京2020） フェンシング女子フルール個人 フェンシング女子フルール団体 2021年全日本学生フェンシング選手権大会女子フルール個人戦 第74回全日本フェンシング選手権大会女子フルール個人戦	6位 6位 優勝 優勝
富 井 大 賀	法学部 3年 （スキー部）	第30回ユニバーシアード冬季競技大会 スーパーG 大回転 回転 バラレル回転 ミックスチームパラレル 日本代表	
山 本 哲 央	経済学部 4年 （自転車競技部）	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（トラック） 男子4kmインディヴィデュアルパシュート 男子マディソン	優勝 優勝
中 村 龍 吉	経済学部 3年 （自転車競技部）	文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（トラック） 男子マディソン	優勝

【スポーツの分野（OB,OG）】

豊 田 裕 浩 （中央大学）	陸上競技部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）	陸上競技コーチ
小 川 智 （本田技研工業株式会社）	陸上競技部OB	第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会優勝	監督
飯 塚 翔 太 （ミズノ）	陸上競技部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）200m	
中 山 顕 （本田技研工業株式会社）	陸上競技部OB	第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会	6区区間賞
舟 津 彰 馬 （株式会社九電工）	陸上競技部OB	第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会	1区区間賞
牧 秀 悟 （横浜DeNAベイスターズ）	硬式野球部OB	日本プロ野球史上初5打席連続2塁打	
上 垣 匠 （一般社団法人日本パラ水泳連盟）	水泳部OB	第16回パラリンピック競技大会（東京2020）	パラ水泳監督
塩 浦 慎 理 （イトマン東進）	水泳部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）4×100mリレー	13位
砂 間 敬 太 （イトマン東進）	水泳部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）200m背泳ぎ	14位
大 本 里 佳 （全日本空輸株式会社）	水泳部OG	第32回オリンピック競技大会（東京2020）4×100mリレー	9位
岡 澤 セ オ ン （I N S P A）	ボクシング部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）ウエルター級 第21回AIBA世界ボクシング選手権ウエルター級	ベスト16 優勝
牧 野 草 子 （自衛隊体育学校）	ボクシング部OB	第91回全日本ボクシング選手権大会フライ級	優勝
杉 岡 尚 樹 （トヨタ車体）	ハンドボール部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）ハンドボール男子	11位
寺 澤 淳 （東京デジタルソリューションズ株式会社）	レスリング部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020） レスリング競技国内技術役員（NT0）	
石 川 祐 希 （パワーバレー・ミラノ（イタリア））	バレーボール部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）バレーボール男子	7位
関 田 誠 大 （堺プレイヤーズ）	バレーボール部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）バレーボール男子	7位
羽 野 一 志 （NTTコミュニケーションズシャイニングアークス）	ラグビー部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）7人制ラグビー	11位
江 村 美 咲 （立飛ホールディングス）	フェンシング部OG	第32回オリンピック競技大会（東京2020）女子サーブル個人戦 女子サーブル団体	ベスト16 5位
永 野 雄 大 （NEXTUSフェンシングクラブ）	フェンシング部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）男子フルール 第74回全日本フェンシング選手権大会 男子フルール団体戦 第74回全日本フェンシング選手権大会 男子フルール個人戦	団体戦4位 優勝 優勝
五 島 莉 乃 （株式会社資生堂）	女子陸上競技部OG	第41回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会 皇后盃第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	5区区間賞 区間新記録 1区区間賞
三 好 悟 （公益財団法人日本ボート協会）	ボート部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）	ボート監督
木 立 彰 （A G R O V E）	スキー部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）カヌー競技（スラローム）	コーチ
蛭 沢 克 仁 （マニライフ・ファイナンシャル・アドバイザーズ株式会社）	スキー部OB	第24回冬季オリンピック競技大会（北京2022）クロスカンントリー	コーチ
柿 木 孝 之 （Blue Wyck合同会社）	自転車競技部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）自転車競技	コーチ
大 戸 淳 之 介 （公益財団法人日本ボート協会）	ボート部OB	第16回パラリンピック競技大会（東京2020）パラボートヘッド	コーチ
磯 部 直 樹 （大分市役所）	射撃部OB	第32回オリンピック競技大会（東京2020）射撃ヘッド	コーチ
大 日 方 邦 子 （株式会社電通グループ）		第13回冬季パラリンピック競技大会（北京2022）	アルパンスキーチームリーダー

第 6 回 学員会会長奨励賞

本賞は、在学生の士気の高揚を図り、本学の発展に寄与することを目的として、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与する学員会会長賞に準ずる者に授与する。

【学術・文化・社会の分野】

真 栄 田 早 希	法学部 1年	自身の経験に基づき「中学校の授業で裁判を傍聴する機会を設けることを制度化する」ことを提案するために、オンラインでの署名活動を実施し、その活動については朝日新聞(2021.10.20夕刊)や朝日新聞デジタル版に取り上げられている。その他、在日難民支援NPOにもボランティアとして携っており、2021年度から募集を開始した「ボランティアセンター学生スタッフ」としても、これらの経験を活かして積極的に活動を行っている。SNSを効果的に活用するなど、社会で起きていることを多くの学生に届けるために努力している。コロナ禍で行動が制限される中でも、オンライン署名サイトを活用するなどの工夫を凝らし、前向きに活動を進める行動力を持ち合わせている。
藤 澤 史 織	法学部 4年	2019年度ボランティアセンター公認学生団体「チーム防災」代表として団体を牽引し、2018～19年にはオリジナル防災ゲーム「防災百人一首」「人間防災すごろく」を仲間たちと創り上げた。チーム防災をまとめながら、防災について楽しみながら考えられるゲームを作っている。代表であった2019年には、ぼうさい甲子園に参加し「だいじょうぶ賞」を受賞した。現在も、コロナ禍で対面活動やコミュニケーションが少なくなってしまった団体の窮地を逸すべく熱心に活動しており、さらにダイバーシティセンターでもノートテイクボランティアとして1年次から活躍するなど、大学や地域への貢献を惜しまない点でも大変素晴らしい。
山 口 栞 奈	法学部 4年	2019年度ボランティアセンター公認学生団体「面瀬学習支援」の代表として、春・夏・冬の長期休暇に、20～30人の学生が活動先に延べ一週間滞在し、主に小学生を対象として活動しており、東日本大震災から10年が経つ中、活動の意義を再度メンバーと考えるなど、組織のリーダーとして活動を引っ張っていった。面瀬学習支援に参加した子ども達は年間延べ856人(2019年度)にのぼり、気仙沼において中央大学は大変知られた存在となっている。2018年度はキリン福祉財団で活動発表し、2019年度は多摩キャンパスを置く6大学によるイベントでの活動発表および東北学院大学主催の大学間連携事業のシンポジウムにおけるパネリストなど、多くの場で中央大学の学生代表として、経験から得た思いや意見を発表してきた。
榎 本 由 波	商学部 4年	ボランティアセンター公認学生団体「はまぎくのつぼみ」の代表として、団体に所属する学生達をまとめあげた。さらに、岡山県倉敷市真備町で被災地支援として活動するボランティアセンター公認学生団体「ふらっと真備」にも立ち上げ時から参加し、宮古市での経験を真備でも活かし、活動を展開してきた。1年次から4年次の現在まで2つの学生団体に籍を置き、積極的に参加しており、コロナ禍のため現場を経験できていない後輩たちに向けて、自身の経験から得た思いを言語化して伝えるなど、いまできることを丁寧に考え着実に実践している。ボランティア活動の現状を客観的にとらえ、団体としての活動の意義について後輩たちとともに考え、今後の方向性について様々な意見をすり合わせるなど、考えを行動に繋げる力だけでなく優れた統率力がある。
釘 本 勇 気	商学部 4年	優れた映像制作技術を有しており、コロナ禍の中央大学杉並高校の2019年度・2020年度の卒業式、2020年度・2021年度のオンライン学校説明会用の校長スピーチ、2021年度の体育祭等のライブ配信動画を主導的に制作することで、中央大学杉並高校の学校活動を活性化し、入試広報を効果的ならしめ、かつ後輩に対して杉並高校出身の中大生として模範となったという点で「高大連携」に大きく貢献した。中央大学広報室の依頼を受け、各種動画製作(例えば、2020年度入学生への歓迎・激励セレモニー等)にも参画し、大きな貢献をした。
加 藤 康 佑	理工学部 4年	生体由来の小胞を細胞疑似マイクロリアクター(リボソーム)と融合させ、バイオマーカー遺伝子の増幅を行うためのマイクロデバイスの開発に従事した。この技術は、将来的に、遺伝子解析や疾病診断の基礎技術となりえるものである。本成果を2021年11月に行われた化学とマイクロ・ナノシステム学会第44回研究会にて発表し優秀発表賞を受賞した。卓越した研究成果を上げるとともに、発表者のほとんどが修士課程・博士課程の大学院生であるなかで、学部4年生として異例の発表賞受賞を果たした。
勝 見 真 帆	理工学部 4年	がん治療の増感剤となる新しいタンパク質分子を開発し、その有効性を明らかにした。カタラーゼ(酵素)にポルフィリン結合アルブミン(血清タンパク質)を連結したユークなタンパク質クラスターを合成した。この分子をがんの光線力学治療に使用すると、きわめて高い光増感活性が認められ、カタラーゼががん細胞内の酸素濃度を上昇させるためと考えられる。先進医療分野での応用と実用化が期待されている。確かな基礎学力(学年上位3%以内)をもとに、数多くの実験を粘り強く行うことにより、上記の卓越した成果を生み出した。その内容は、日本化学会第102春季年会で発表される(本人が口頭発表)。
北 村 栞 莉 子	理工学部 4年	学業成績が優秀であり(GPA3.71)、学年でトップの成績をおさめている。素直で勤勉な努力家で、4年間を通じて真面目に学習に励み、優秀な成績を達成した。卒業研究においても、被験者実験の準備作業では大変骨の折れる緻密な作業を丁寧に言い、スケジュールに余裕を持って進めている。卒業研究の結果は国際会議などに発表できる内容となった。
久 能 直 人	理工学部 4年	電気電子情報通信学科において学年1位の成績順位(GPA)を獲得した。主体的に他学及び研究に取り組み、極めて優秀な学業成績を修めている。卒業研究においても難しい課題に対し、緻密な研究計画を立て、自律心を持ち、議論、提案、発表、打合せなどを積極的に行い対応している。その行動は研究室においてロールモデルとなり、人物や協調性等にも優れており、将来の成長が大いに期待される。
白 石 夕 貴	理工学部 4年	希少な土壌NOB株、Nitrobactersp. CN101株を対象に、その取得には高いスキルが要求される亜硝酸酸化の活性化エネルギーを求めることに成功した。卒研究生ながら、これを「活性化エネルギーから見る亜硝酸酸化細菌の温度依存性の比較」と題して2021年11月、日本微生物生態学会で発表した。NOBは培養が極端に難しく、世界的にも分離例が少ない。労力が必要な実験であるが、このコロナ禍で達成したことは特筆すべきである。この姿勢は他の学生の模範である。学会での成果発表の反響も大きく、白石氏に限らず、コロナ禍で多くの本学学生に大きな励みとなったと考える。
芳 賀 溪 介	理工学部 4年	中央大学理工学部給付奨学金学部長賞受賞。明朗快活な人柄で、周囲の学生をリードしつつ、配慮もできる姿勢は学生間でも評価が高い。それは、理工学部奨学金選考の面接において「学科内で奨学金を与えるべき生徒はだれか」という質問に対して候補者内から多くの票を集め、学部長賞を受賞したことからもわかる。また、台風時におけるリアルタイムの漂流船舶システムに関する卒業研究に励んでおり、研究活動を通して人間性を養うとともに学識と能力を得るために自己研鑽に励んでいる。
古 井 佑 典	理工学部 4年	高い学習意欲と強いリーダーシップを兼ね備え、勉強を教え合う同級生のグループの中心的な役割を果たし、理工学部・物理学科において学年トップタイの優秀な成績を修めた。卒業研究では、量子コンピュータの研究に高い関心を示し、英語の原論文を深く理解し、基本的な計算技術を身につけた。現在は、量子誤り訂正理論について研究を行っており、新しい量子誤り訂正コードの開発という難しい研究課題に果敢に挑戦している。
丸 山 諒 太	理工学部 4年	極めて優秀な成績を修めた。数学を学ぶための学習態度を身につけている。また中央大学と東京学芸大学の連携プログラムで東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)に入学予定である。大学院進学後に数学教育の道へと進んでいくことが期待される。数学を学んでいく中で現れる新たな謎に対し、自ら問いを見出し、それを解明する方策を探っていくことができる。

米澤 知華	理工学部 4年	ボート競技において、学業との両立を実現し、秀逸な実績を残している。コロナ禍によって競技は中断中であるが、わが国を代表するアスリートに成長している。特に世界ジュニア選手権8位は、U19日本代表における史上最高順位である。理工学部人間総合理工学科での学びにおいて、従来のスポーツ推薦入学者の枠を上回る積極的な参加姿勢を見せてきた。学科教員からは、思考力、発言力、リーダーシップの点でトップレベルの学生と認識されており、文武両道のよきロールモデルを体現している。コロナ禍で順調であった競技生活が中断してはいるが、その間にも基礎トレーニングを積極的に行い、将来への活躍に向け、ためめめ努力を続けている。
渡邊 涼太	理工学部 4年	情報工学科2018年度入学生（現在4年生で卒業研究を実施中）の中で通算 GPA3.85 という学年で1位の成績を修めた。また、勉学に加えて、情報工学科で培った技能をサークル活動におけるゲーム制作という形で発信することに取り組み、少なくとも3本の成果物をインターネットに公開し、その活動に関連してサークル後輩への指導などの貢献もしている。
岩野 真紀	国際情報学部 3年	当該学生は、IT業界に就職し、最先端のICT技術を実用化した上で、すべての人々がその技術を利用できる社会づくりに貢献するという自身の希望する進路実現に向け、1年次から正課内外問わず、積極的かつ計画的な学修を継続して進めており、国際情報学部を牽引する存在として活躍してきた。このたび、当該学生は今年度、「応用情報技術者試験」に合格した。本試験の合格者は「高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度IT人材としての方向性を確立した者」（実施団体：情報処理推進機構WEBサイト抜粋）と位置付けられており、本学部卒業後の活躍も大いに期待される。人物も申し分なく、国際情報学部を代表する学生として、本奨励賞に推薦する。
内山 正徳	国際情報学部 3年	当該学生は、自身が希望する進路を見据え、ITに関する専門知識な知識を身に付けて、国際的に活躍する人材になるという明確な目標を掲げ、自身のスキルの向上のための努力を続けてきた。このたび、当該学生は今年度、「応用情報技術者試験」に合格した。本試験の合格者は「高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度IT人材としての方向性を確立した者」（実施団体：情報処理推進機構WEBサイト抜粋）と位置付けられており、本学部卒業後の活躍も大いに期待される。人物も申し分なく、国際情報学部を代表する学生として、本奨励賞に推薦する。
大和田 光紀	国際情報学部 2年	当該学生は、情報技術を活用して企業や社会の課題に解決策を提案するITコンサルタントになるという、将来の希望進路実現に向け、正課学修はもちろんのこと、正課で修得した知識を活かしたインターンシップへの参画等、積極的かつ計画的な学修を継続して進めている。当該学生は今年度、「応用情報技術者試験」に合格した。本試験の合格者は「高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度IT人材としての方向性を確立した者」（実施団体：情報処理推進機構WEBサイト抜粋）と位置付けられており、学部2年次生での合格には、相当の努力を要する。人物も申し分なく、国際情報学部を牽引する学生として、本奨励賞に推薦する。
小久保 凜	国際情報学部 2年	当該学生は、エンジニアとして、様々なシステム開発に関わりたいという自身の希望する進路実現に向け、正課学修はもちろんのこと、正課で修得した知識を活かしたインターンシップへの参画等、積極的かつ計画的な学修を継続して進めている。当該学生は今年度、「応用情報技術者試験」に合格した。本試験の合格者は「高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度IT人材としての方向性を確立した者」（実施団体：情報処理推進機構WEBサイト抜粋）と位置付けられており、学部2年次生での合格には、相当の努力を要する。人物も申し分なく、国際情報学部を牽引する学生として、本奨励賞に推薦する。
佐藤 生成	国際情報学部 3年	当該学生は、バックグラウンドの異なる人々が集まるチームでセキュリティによって社会課題を解決する仕事をしたという、自身の希望する進路実現に向け、1年次から積極的かつ計画的な学修を継続して進めており、過去には「学長賞・学部長賞」を受賞するなど、国際情報学部を牽引する存在として活躍してきた。このたび、当該学生は今年度、「応用情報技術者試験」に合格した。本試験の合格者は「高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度IT人材としての方向性を確立した者」（実施団体：情報処理推進機構WEBサイト抜粋）と位置付けられており、本学部卒業後の活躍も大いに期待される。人物も申し分なく、国際情報学部を代表する学生として、本奨励賞に推薦する。
八幡一秀ゼミ 磯崎グループ 磯崎 光 (他 4名)	経済学部	八王子の中小企業20社へのアンケート調査と中央大学学生100名へのSNSを利用した調査を行い、八王子市内の中小企業が行う求人活動と学生の就職志望先とのギャップを解消するために、マッチングアプリ「八王子コネクト」を利用することにより、両者をSNS上で引き合わせ、インターンシップなどの実際の就職活動支援を手軽に実施できる方策を考え出した。大学コンソーシアム八王子主催の学生発表会「学生が八王子市長に直接提案！最終選考」において、「奨励賞」を獲得した。当該部門は13回を迎える学生発表会の中でも毎年エントリーが多いが、なかなか本選に進むことが難しい部門である。本選では八王子市長からも謝意が示されるなど、今後の大学での研究活動にも大いに期待が持てる。
和田光平ゼミナール 大塚 裕太 (他 1名)	経済学部	第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会「学生が八王子市長へ直接提案！～最終選考会～」において、八王子市の活性化と課題解決へ導く提案が高く評価され、奨励賞を受賞した。八王子市政や地域活性化につながるための政策提案を発表するチームとして非常に多くの応募の中から（今年度は8チームが）選抜され、八王子市内在住の地方出身大学生と孤独な高齢者という世代を超えたつながりを実現するための独創的な施策を、八王子市長や産業界の審査員に直接提案をして高く評価された。
後藤孝夫ゼミ 郡 司 智行 (他 4名)	経済学部	（公財）関西交通経済研究センター主催の懸賞「提案・提言」論文は、次世代を担う方々の叡智を通じて調査、研究の新たな切り口を発掘し、近畿圏における運輸・交通・観光の一層の発展と地域社会の活性化に寄与するような「積極的にユニークな提案・提言」を求めるという趣旨のもとで、学・官・民の若手を対象に毎年募集を行っているものである。郡司氏ほか4名の共同研究の成果は、この懸賞「提案・提言」論文の審査過程のなかで高く評価されて、奨励賞を受賞した。
和田光平ゼミナールUmanpa 中嶋 大夢 (他 4名)	経済学部	中央大学が主催する大会でも最も権威あるビジネスコンテストである中央大学野島記念BusinessContest2021において、発表したビジネスモデルが審査員一同から高く評価され準優勝した。学生寮や社員寮などを有効活用して、孤食を強いられている子どもと高齢者に食事や交流の場を提供することによって、従来の「子ども食堂」とは異なり、両者がそれぞれに単独でいることの社会問題をビジネスの視点から解消に向かわせるという独創的な事業を提案した。単にビジネスの視点だけではなく、社会政策の視点からも孤独な子どもや高齢者の抱える社会問題の解決につながるアイデアとして、多くの審査員から高く評価された。
和田光平ゼミナール39'S 益 子 一 樹 (他 3名)	経済学部	中央大学が主催する大会でも最も権威あるビジネスコンテストである中央大学野島記念BusinessContest2021において、発表したビジネスモデルが審査員一同から高く評価され野島賞を受賞した。大量のデータベースを基に、さまざまな感情に合った音楽をAIが作曲して、それを個人間や商業的に利用するSNSの構築である。言葉や動画を中心としたこれまでのようなSNSではなく、音楽という言語に左右されないコミュニケーション手段によって世界中の人々となつがる無限の可能性をもつネットワーク構築のリアルなベースを示したものであり、ここに先見の明があるとして野島廣司氏の慧眼にかかった。

第 23 回 法曹会賞

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績を挙げた卒業生に対して授与するものです。

神 津 周 平	法学部 4年	在学4年次に司法試験合格
陶 山 礼 人	法学部 4年	在学4年次に司法試験合格
三 上 創	法学部 4年	在学4年次に司法試験合格

第 36 回 南甲倶楽部賞

本賞は、学員会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にて学問研究、文化活動、体育活動及び社会活動などの分野において顕著な成果を挙げ、本学の名声を高め

坂 本 望	法学部 4年	法学部卒業生の中で、在学中の学業成績が優秀でありかつ所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員及びゼミ生からの信頼も厚い。
大 澤 啓 太	経済学部 4年	学長・学部長賞奨学金制度における学部長賞奨学生に2年連続して採用されており、学業成績が極めて優秀である。今回、卒業式での答辞の任は本人が辞退されたが、GPAは経済学部において1位である。また、ゼミ活動においても積極的に活動しており、「スウェーデンの財政」に関する卒業論文を書き上げた。学業に取り組むその姿勢は、学生の模範となるに相応しく、南甲倶楽部賞受賞候補者として適格であると判断し、ここに推薦する。
春 山 芽 衣	商学部 4年	本年度商学部卒業生の中で学業成績が優秀であり、難関とされる公認会計士試験に在学中に見事合格した。
平 尾 巧	理工学部 4年	平尾巧君は生命科学科におけるカリキュラムにおいて優秀な成績を取っているのみでなく、所属の生物分子設計学研究室において、医薬品探索のソフトウェア作成に関して様々な改良のアイデアを提案、実装しており、学外において2021年10月のCBI学会年次大会の発表の著者に属している。そのなかで、医薬品のアクセシ実験のデータベースであるChEMBLの再現を目標とする取り組みに並々ならぬ興味を持って取り組んでくれており、特にアプリケーションの性能評価に関する部分と実行速度の改良に関する部分に大きな貢献をしてきている。学問を真摯に追究するのみならず、難易度の高い技術を吸収し続ける姿勢についても多くの学生の模範となるべき点があると判断し南甲倶楽部賞受賞の候補者として推薦する。
金 井 優 樹	文学部 4年	金井優樹さんは、入学以来一貫して真面目に勉学に励み、優秀な成績を取ってきた学生である。現代中国語の運用能力も中国語古文の読解能力も、中国言語文化専攻在籍学生の中で上位に属している。中国語学習のみならず、中国学の諸領域に強い関心を持ち、その理解力には特筆すべきものがある。また、性格の明朗さ、他者への適切な関心と配慮を欠かさない協調性が、平素の授業などにおいても顕著に表れていた。卒業後は本学で学んだことを活かし、社会に貢献してくれる有為な人材になると確信し、推薦する。
矢 野 七 瀬	総合政策学部 4年	総合政策学部の中でも卓越して優秀な成績を取め、かつ非常に謙虚で人格者でもある。とくに、先行研究から複数の有力仮説を抽出し、綿密な事例研究を用いて韓国の対日強硬政策が国内政治要因に大きく影響されていることを実証した卒業論文は、所属ゼミの過去10数年の論文の中でも1,2を争う秀逸なものである。上記理由から、南甲倶楽部賞にふさわしい学生として、推薦する

第 17 回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

Hoh Shu YEE	理工学研究科 修士課程 1年	水資源問題に関する研究に、熱意を持って取り組んでおり、語学も堪能で、世界で活躍する資質と高い志を持っている。
-------------	-------------------	--

第 8 回 東京白門ライオンズクラブ法務研究科学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、将来法曹として活躍が期待される人材の育成に資することを目的として、社会実務等の経験を有して法務研究科に入学し、在学中の業績が顕著と認められた学生に授与するものです。

近 藤 涼 午	専門職大学院 法務研究科 3年	社会人学生で、勉学に非常に積極的であり、学業成績は学年の最上位層に属しており、法曹として活躍することが期待される。
---------	--------------------	---